

一般財団法人 地図情報センター
平成25(2013)年度事業計画
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 調査研究（地図情報学の研究）

1-1 地図及び地図資料の情報化のための調査研究

当財団及び関連機関が保有する地理空間データを有効活用するため、学術研究を継続する。また、地図・地図資料の情報化に向けた調査研究を引き続き行う。

1-2 地図画像付きデータベースの総括

所蔵地図資料の画像付きデータベース化の継続と整備構築を行い、インターネットによるデータベースの提供を行う。なお、電子化されたデータの管理・調整・総括を継続する。

1-3 地域の変化に関する情報の研究

現行の地域の変化に関するデータベース「地域情報ニュース」を継続する。情報提供のシステム化とデータベースの充実を図る。

1-4 インターネット関連事業の充実

ホームページの一層の充実を図る。一般への地図・地図情報の知識の普及・啓発を図るため、コンテンツの充実を図り、これにより地図に関する様々な情報や会員獲得の入口（ポータル）としての役割をはたす。

1-5 研究のための関連内外学術団体・地図関連団体との連携協力

インターネットの相互リンクを始めとする地図情報のネットワーク化を図る。

1-6 実践マップスキル(MS)研究会

実践マップスキル研究会の事務局として、事業を円滑に実施していく。

1-7 受託事業の実施

地図・地理に関する受託事業を引き続き実施拡充する。

2. 地図・地図資料の普及・啓発

2-1 地図・地図資料の研究に関するセミナー、シンポジウム等の開催

「民間地図の話（仮）」夏～秋 予定 辻野民雄氏に依頼予定（平日）

2-2 地図・地図資料に関する知識の普及活動

「地図情報」の発行

「ICICニュース」の発行

地図展への協賛（「身のまわりの環境地図作品展」多摩市、「鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」鳥取県、「彩の国環境地図作品展」立正大学）全国の関係機関との連携を図り、普及・啓発活動並びに教育振興を拡充する。

2-3 地図・地図資料の普及・啓発のための巡検の開催

巡検を2回程度開催予定（江戸川橋（春）、成増（秋）予定）。

- 日本地図学会（東京大学（柏））への参加
- 2-4 事業検討委員会での事業検討
出前授業関係（授業の開催、テキストの作成等）
出版物の編纂（「世界の地図情報（仮）」など）
- 2-5 ホームページの活用
平成24年1月に移行したサーバでWebの商用利用に関する研究や事業を検討・実施する。

3. 地図資料室の運営

- 3-1 地図・地図資料の収集
- 3-2 地図・地図資料の管理
- 3-3 地図資料の提供
原資料及び電子媒体(CD-ROM、電子出版、インターネット等)による学術団体、研究者、一般に対する情報提供。
- 3-4 所蔵目録の整備の継続

4. 学術研究書、定期刊行物、二次資料等の刊行

- 4-1 研究成果の報告、発行及び電子媒体、インターネットによる提供
- 4-2 研究機関誌「地図情報」の刊行(年4回)33巻1~4号(通巻125~128号)
- 4-3 「地域情報ニュース」(AiN)の刊行(月刊)
- 4-4 ニュースレター「ICICニュース」の刊行(年4回)
「ICICニュース」はインターネットでも提供している。

5. 委員会等

- 5-1 常任理事会の開催
- 5-2 各委員会の開催
- ・編集委員会：「地図情報」の編集と会員増加策
 - ・行事委員会：巡検・見学会・セミナーの実施と参加者の拡充
 - ・経営・組織委員会：財政基盤強化、収入増加策の検討
 - ・事業委員会：既存事業の強化、新規事業の開発